

【平成 18 年 7 月 2 日（日）、テクスピア大阪（泉大津市）にて開催】

2006～2007 年度長期派遣学生への第 5 回最終オリエンテーション

2005～2006 年度長期受け入れ学生への修了証書授与式

およびホストファミリーへの感謝状授与式終了後簡単なパーティー

2006～2007 年度短期交換学生送迎会

## 報告書

国際ロータリー第 2640 地区

青少年交換副委員長 北島 一樹

新しいロータリー年度が始まったばかりの 7 月 2 日（日）、地区青少年交換委員会は早速、今年度行事のビッグイベントを迎えた。この日、午後 1 時 30 分より始まった最終オリエンテーションで、三軒バナーからの「笑顔と誇りを持って出発しなさい」とのアドバイスに、学生たちは熱心にメモをとっていた。地区委員会からは、学生たちに持ち物や空港での乗り換え、到着後の行動等について最終確認のアドバイスが与えられた。続いて、来日中の受入学生たちに三軒ガバナーから修了証書と記念品が与えられた。学生たちの流暢な日本語による最後のスピーチでは、「日本が大好きになりました」、「いつか必ず日本に戻ってきます」、「日本人はみんな優しかった」、などの感想が述べられ、中には、涙ぐみながらスピーチを行った学生もいた。

この後、学生たちを 1 年間お世話していただいたホストファミリーに、同じく三軒ガバナーから感謝状が手渡された。同時にホストファミリーの皆さんには、司会者からの突然の要請にも拘わらず、ホストをしていただいた感想や率直な意見などを述べていただいた。ホストファミリーの皆さんには、この 1 年間、本当にお世話になりました。

途中の休憩を挟んでこの後、長期派遣学生（11 名）、短期派遣学生（2 名）によるスピーチが行われ、流暢な英語で出発前の抱負と関係者への感謝の言葉が述べられた。いろんな苦労に直面するだろうが、それらを乗り越えて、是非大きく成長してほしい。

会議終了後、ROTEX のメンバーによる簡単な、しかし心のこもった、送迎パーティーが開かれた。終了予定の時刻が過ぎても、参加者たちは名残を惜しんで、なかなか帰ろうとはしない学生たちに、ROTEX のメンバーたちが、一人ずつに声をかけ、参加者を送り出して、この日の行事を終了した。